

JACET中国・四国支部 Newsletter

第 36 号

目 次

- | | | |
|-----------------------------------|-------------|---------|
| 1. 巻頭言 | 支部長 山川 健一 | pp. 1-2 |
| 2. 2025 年度秋季支部研究大会報告 | 事務局幹事 寺嶋 健史 | p. 3 |
| 3. 2025 年度支部第 2 回役員会報告 | 事務局幹事 寺嶋 健史 | pp. 3-4 |
| 4. 2026 年度春季研究大会発表応募要領 | | p. 4 |
| 5. 2027 年度『JACET 中国・四国支部研究紀要』投稿募集 | | p. 5 |
| 6. 事務局だより | | pp. 5-6 |
| 7. 編集後記 | | p. 6 |
| 8. 【重要】ニューズレター（NL）配信についてお願い | | pp. 6-7 |

1. 巻頭言

中国・四国支部長 山川 健一

皆様、新年明けましておめでとうございます。中国・四国支部長として、2026 年のスタートにあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

2025 年は春季研究大会を就実大学で、秋季研究大会を香川大学で開催することができました。中国・四国支部の学会活動が充実したものになりましたこと、心より感謝申

し上げます。

私が中国・四国支部長を拝命して約 7 か月が過ぎました。支部長は学会の理事と社員も通常兼ねており、また私は第 1 号事業委員会（国際大会、セミナー、JAAL in JACET）の担当理事でもあるので、支部の業務以外にも JACET 本部の会議等にも参加する機会が既に数多くありました。これ

までの率直な感想ですが、約 2,000 人規模のこの大きな学会、しかも一般社団法人になっている学会を毎年平常運営していくのはこれほどまでに大変なことなのか、そしてそれにどれほどの多くの先生方や関係者の方が尽力されているのかということでした。

中国・四国支部は、2025 年 12 月 10 日時点の個人会員数が 110 名です。これは 7 つある支部の中で少ない方から 3 番目です（北海道と東北がそれぞれ 72 名）。ちなみに最も多いのが関東支部で 792 名、次で関西が 481 名、中部が 228 名、九州・沖縄が 161 名です。支部の活動費は所属する個人会員の人数に従って本部から分配されますので、他の支部と比較すると限られた予算の中で研究大会や支部研究紀要の運営をしています。毎年度末には 1 円単位の正確さで本部への収支報告が義務付けられており、特に幹事や会計担当の先生方には大変お世話になっております。

加えて、毎年度末に発行している支部研究紀要も、投稿論文に対して複数の査読者を配置して厳格な査読を行い、その後編集委員の先生方が印刷所とのやり取りを行って皆様のお手元に届いております。この点もご担当の先生方に感謝申し上げます。またこの他にも、本ニューズレターの巻末にも記載があるように、支部の先生方には各種委員をご担当いただき、様々なお仕事をいただいています。重ねてお礼申し上げます。

このような学会運営を支部長として最前線で拝見するにあたり、ぜひ皆様方へお願いがございます。

まずは、活発な学会運営になるように今後とも引き続き支部研究大会ならびに支部研究紀要への積極的な発表と投稿をお願いいたします。運営する支部役員の方でも、少しでもお役に立てるように、大会での企画を工夫したり、また支部紀要への投稿手続

きがさらにスムーズになるようにするなど、小さな努力を引き続き続けていきたいと思っています。

次に、支部会員の数を増やすことです。先日の報道で中国地方の人口減少が話題になっていました。最も人口の多い広島県でさえも、若者の県外転出が顕著だということはよく知られています。その中で会員数を増やすのは容易ではないですが、会員の皆様方の周りに英語教育や応用言語学に関心があり、教育・研究をしている方がいたら、ぜひ積極的に勧誘をお願いします。まずは 6 月 6 日（土）に安田女子大学で開催予定の春季大会に一緒にご参加いただけたらと思います。非会員での参加費は 500 円です。まずは「様子を見ていただく」ことからスタートできるのではないのでしょうか。

最後にさらに一歩進んでお願いします。学会への参加のみならず、学会の運営にもぜひ携わってみてください。学会の内情もよくわかりますし、担当者間の横のつながりも生まれます。これまでお話しする機会のなかった先生方との交流も生まれます。また本部の役員担当になると、全国レベルでネットワークの輪が広がっていきます。支部の役員は基本 2 年任期ですが、ここ何年間も同じメンバーでずっと仕事を回している状況です。新しいメンバーが加わることによって、支部役員会全体が活気づきますし、新しい企画や活動が生まれるかもわかりません。

学会は構成員である会員が自ら運営する互助団体です。学会活動をより活発に、そして少しでも長くサステイナブルにするためにも会員の皆様方のご理解とご協力をぜひともいただきましたら幸いです。共に学び、共に成長し、英語教育の未来を切り拓いていきましょう。2026 年が引き続き皆様にとって素晴らしい 1 年になるように願っています。

（安田女子大学）

2. 2025 年度秋季支部研究大会報告

事務局幹事 寺嶋 健史

2025 年度 JACET 中国・四国支部研究大会は 10 月 18 日（土）に香川大学幸町キャンパスで開催されました。参加者は発表者も含めて 16 名でした。

研究発表は以下の 5 件でした。

- (1) 英語科教授法の授業で見せる英語授業動画の視聴に対する学修者の視点と意識との関係について

(Relationship Between Students' Perspectives on English Teaching Methodology Course)

藤居真路先生（広島文化学園大学）

- (2) Can One Term of EFL Instruction Make a Difference to University Students' Willingness to Communicate?

(1 学期間の EFL 授業が大学生のコミュニケーション意欲に及ぼす影響)

Ian Willey 先生 (Kagawa University), Eleanor Carson 先生 (Matsuyama University), Julia Kawamoto 先生 (Ehime University)

- (3) 個別最適化オンライン教材を活用した e-learning による英語の授業の効果とその課題

(The Effectiveness and Challenges of English Instruction Using E-

Learning with Individually Optimized Online Learning Materials)

中山晃先生（愛媛大学）

- (4) Teaching Independent Study Skills: Content, Practice, and the Difficulty of Measurement

(自律学習スキル指導: 教育内容、実践、および効果測定 of 課題)

Hiroshi Moritani 先生 (Okayama University)

- (5) Generative AI as a Learning Partner: Effects on EFL Learners' WTC, Anxiety, and Perceived Language Competence

(学習パートナーとしての生成 AI: 英語学習者の WTC、不安、有能感に与える影響)

Takahiro Iwanaka 先生 (Yamaguchi Prefectural University)

どの発表後にも活発な意見交換がなされ、たいへん有意義な時間となりました。今回は英語による発表が多かったこともあり、大半が英語での質疑応答であったことが特徴と思われます。

3. 2025 年度 JACET 中国・四国支部

第 2 回役員会報告

事務局幹事 寺嶋 健史

2025 年 10 月 18 日（土）に香川大学幸町キャンパスで開催された第 2 回支部役員会にて、2026 年度の事業計画（案）、予算（案）

および人事（案）について話し合いが行われましたので、お知らせいたします。

- 1) 春季研究大会
日程：2026 年 6 月 6 日（土）
場所：安田女子大学
（広島県広島市安佐南区安東 6-13-1）
- 2) 秋季研究大会
日程：2026 年 10 月 3 日（土）*
場所：松山大学
（愛媛県松山市文京町 4-2）
*日程は今後変更の可能性有り
- 3) 支部紀要・支部ニューズレター
・『大学英語教育学会中国・四国支部紀要』
（第 24 号）
発行：2027 年 3 月 31 日（予定）
・支部ニューズレター
発行：2026 年 7 月 30 日（第 37 号）
2027 年 1 月 20 日（第 38 号）

4. 2026 年度春季研究大会発表募集要領

2026 年 6 月 6 日（土）に 2026 年度春季研究大会が開催される予定です。下記のとおり、研究発表の募集をいたします。奮ってご応募ください。

支部春季研究大会
日時：2026 年 6 月 6 日（土）
場所：安田女子大学
（広島市安佐南区安東 6-13-1）

A) 応募情報（英語での併記もお願い致します）

- a. 発表題目 (Title)：日本語と英語
- b. 種別 (Style)：自由研究発表、実践報告、事例研究など
- c. 氏名 (Name)：
- d. 研究領域 (Research Area)：
- e. 概要 (Abstract)：目的、背景、仮説、方法、結論、引用文献など日本語の場合は 600 字以内、英語の場合は 250 words 以内とする。
- f. 所属 (Affiliation)：

- g. 使用機器 (Equipment needed)：
- h. 連絡先 (Contact Address)：メールアドレスなど

B) 申込応募期間

■2026 年 5 月 22 日（金）
午後 11 時 59 分まで

■申込先

下記支部 HP の申込フォームをご利用ください（発表の参加申込ができます）。

<https://ws.formzu.net/dist/S78585634/>

C) プログラムおよび発表スケジュール詳細は支部会員 ML、および支部 HP でお知らせします。（支部会員 ML へのアドレス追加をご希望の方は事務局までご連絡ください）。

■問い合わせ先

事務局幹事 寺嶋健史（松山大学）
tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp

5. 『JACET中国・四国支部研究紀要』第24号 投稿募集

質的研究や量的研究など様々な観点に基づく論文、リサーチ・ノート、実践・研究報告、およびブックレビューの4つの分野の研究成果を発表する場として、年1回3月に支部紀要を刊行しています。

投稿資格は、所定の学会費を完納した支部会員に限りです。複数名による投稿の場合には、必ず本支部会員1名を含むこととし、その他の投稿者も論文投稿時にはJACET会員でなければなりません。ただし委嘱原稿については、この限りではありません。

投稿論文は、原則として過去2年以内に開催された国際大会および支部大会で発表を行った研究にもとづくものが望ましいです。

審査は、委嘱原稿を除き、紀要編集委員会が指名する審査員が担当し、査読の結果を踏まえて編集委員会が採用の可否を決定いたします。

JACET中国・四国HPにある投稿規程をご参照の上、奮ってご投稿ください。発行

までの日程は原則として下記のとおりですが、**今後、投稿区分と受付締切が変更される場合があります。**詳細は、**本支部HP及び次号のニューズレターにてお知らせいたします。**

- 論文投稿申込締切り：9月末
- 投稿原稿締め切り：10月末
- 審査結果通知：12月末
- 修正原稿締め切り：1月末
- 刊行：3月末

投稿先：支部HPフォームズから（詳細はニューズレター次号でお知らせします。）

お問い合わせ：紀要編集委員会委員長
中山晃（愛媛大学）

E-mail:
nakayama.akira.mm@ehime-u.ac.jp

6. ～事務局だより～

2025年7月から現在までの新入会員2名をご紹介します。

水川 航生（広島商船高等専門学校）

松田 圭史（近畿大学(非常勤)）

宇塚万里子（岡山大学）

（敬称略）

皆様、どうぞよろしく願いいたします。

2026年度の支部人事および本部運営委員をお知らせいたします。支部活動発展のために力を尽くしますので、よろしくお願いいたします。

【支部役員】

支部長 山川健一（安田女子大学）

副支部長 平本哲嗣（安田女子大学）

寺嶋健史（松山大学）

支部幹事（*は事務局幹事）

寺嶋健史*（松山大学）

山中英理子（広島国際大学）

支部会計担当者

小崎順子（川崎医療福祉大学）

支部研究企画委員（19名）

池野修（愛媛大学）

岩中貴裕（山口県立大学）

ウィリー・イアン（香川大学）

上西幸治（元福山大学）

カワモト・ジュリア（愛媛大学）

小崎順子 (川崎医療福祉大学)
小山尚史 (岡山大学)
高垣俊之 (尾道市立大学)
寺嶋健史 (松山大学)
中住幸治 (香川大学)
中山晃 (愛媛大学)
二五義博 (山口学芸大学)
平本哲嗣 (安田女子大学)
松岡博信 (安田女子大学)
三熊祥文 (広島工業大学)
森谷浩士 (岡山大学)
山川健一 (安田女子大学)
山中英理子 (広島国際大学)
ローレンス・ダンテ (就実大学)

【本部委員】

理事 (支部長)

山川健一 (安田女子大学)

法人事業委員会

総務委員 (支部事務局幹事)

寺嶋健史 (松山大学)

『JACET 通信』委員会)

寺嶋健史 (松山大学)

財務委員 (支部会計担当者)

小崎順子 (川崎医療福祉大学)

第1号事業委員会

国際大会担当

森谷浩士 (岡山大学)

セミナー担当

中住幸治 (香川大学)

JAAL in JACET 担当

二五義博 (山口学芸大学)

第2号・第3号事業委員会

本部紀要『JACET JOURNAL』

国際大会の Selected Papers 担当

平本哲嗣 (安田女子大学)

JACET 褒賞運営担当

池野修 (愛媛大学)

第4号・第5号事業委員会

研究促進委員会

二五義博 (山口学芸大学)

ウィリー・イアン (香川大学)

【編集後記】

2026年は午(うま)年です。前に進む力強いイメージから、活力・前進・飛躍・成功・繁栄・勝負運を象徴し、努力が実を結び、何事もうまく行く年と言われています。

前回の午年 2014 年、記録によると中国四国支部では、春季研究大会が広島市立大学で開催されましたが、秋季研究大会は国際大会が開催されたため開催されていません。さらにその前の午年 2002 年は、まだ私が会員になる前で、当時の記録も残っていない

ため、詳細は分かりません。記録は残していかなければならないと改めて思った次第です。今年は春季研究大会が安田女子大学、秋季研究大会が松山大学で開催の予定です。

新支部長の体制が本格的に始動しましたので、みんなで学会を盛り上げて前進していきましょう。今年がみなさまにとってよい年になりますように。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

【重要】JACET (大学英語教育学会)
中国・四国支部ニューズレターの配信について

支部長 山川健一 (安田女子大学)

中国・四国支部では、支部会員のみなさまにより迅速な情報提供を図るべく、2014 年

度よりメールにてニューズレターを配信しています。お知り合いの会員の中で、まだ登録をされていない方がおられましたら、下記要領にて登録をされますよう、お知らせください。ご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

1. 支部 HP (<http://jacet-chushikoku.com/>)
にアクセスする。
2. 入力フォームのサイトのページ
(<http://ws.formzu.net/fgen/S61768122/>)
に入る。
3. ウェブの入力フォームに以下の【入力情報】
を入力する。

【入力情報】

- ・お名前
- ・所属
- ・メールアドレス・支部のメーリングリスト
に登録を希望しますか？
 - ☐すでに登録している
 - ☐希望する

(※すでに事務局からのメールが届いている方は登録済みです。)

- ・登録を希望するメールアドレス

※ニュースレターはメール送信とともに、
支部ホームページでも公開します。

なお、上記の作業についてご不明な点がありましたら、事務局幹事の寺嶋までお問い合わせください。

アドレス：tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp

メールアドレスを変更された方は、事務局までお知らせください。

JACET 中国・四国支部 Newsletter 第 36 号

2026 年 1 月 20 日 発行

発行人：JACET 中国・四国支部 支部代表 山川 健一

編集：JACET 中国・四国支部 事務局幹事 寺嶋 健史

発行所：〒790-8578 愛媛県松山市文京町 4 番 2 号 松山大学 人文学部

連絡先：E-mail: tterashi@g.matsuyama-u.ac.jp